

※PLACIA…中小企業等へのプラズマ技術の普及を通して、地域の産業振興に貢献するという目的で設立されたセンター
※PLAM…プラズマ技術の産業応用に関心のある企業の方を会員とする研究会

PLACIA NEWS : 春号の Topics

「PLACIA 地域の産業発展に資する機関として」

公益財団法人名古屋産業振興公社 理事長 西部 啓一

1. 特集：もっと PLACIA！ ～PLACIA の活動と新しいサービスメニュー～
2. PLACIA の技術相談・機器使用状況
3. 事務局より

「PLACIA 地域の産業発展に資する機関として」

公益財団法人名古屋産業振興公社 理事長 西部 啓一



東海広域ナノテクものづくりクラスター創成事業の一環として、当公社が名古屋市の支援・協力を得て、プラズマ技術産業応用センター（PLACIA）を設立してから、早いもので4年が経ちました。

ナノテクものづくりに不可欠なプラズマ技術に特化して産業応用を展開する新しい機関として、模索を繰り返しながらの活動ではありましたが、関係機関の皆様のご尽力のもと、地域の中小企業をはじめ多くの方々にご利用いただき、この4年間で1,000件を超える技術相談、2,500件を超える機器トライアルに対応してまいりました。PLACIAの運営するプラズマが拓くものづくり研究会（PLAM）も、322社728名の方々にご参加をいただき、大きなネットワークを作り、成長しております。

さらにPLACIAでは、専門の技術者と同時に、民間企業での事業化経験を持つコーディネーターを配置し、「PLACIAモデル」という、技術相談から事業化に至るまでの、各段階に応じた独自の開発フェーズアップモデル

を作りました。それに基づいて取り組みを進めた結果、少しずつではありますが、着実に成果が上がってきていることを、たいへん喜ばしく思っております。

東海広域ナノテクものづくりクラスター創成事業は、プラズマをはじめとするナノ科学分野で、多くの事業化に繋がる成果を創出し、平成25年3月に終了いたしました。当事業の一環としてスタートしたPLACIAではありますが、今後も当事業で得た人的・技術的・組織的な繋がりを大切に、名古屋市をはじめ愛知県などの行政機関、名古屋大学や名古屋市工業研究所などの研究機関と連携し、より一層、地域の産業の発展に資する機関として活動をしてまいります。

また、PLACIAを運営しております当公社では、研究開発支援、経営支援や人材育成などを実施し、地域企業の皆様を引き続きサポートしてまいります。今後とも、ぜひPLACIAならびに当公社をご利用いただき、自社の技術力・競争力アップにお役立ていただければ幸いに思います。

1. 特集：もっと PLACIA！ ～PLACIA の活動と新しいサービスメニュー～

●PLACIA の歩みと活動：

PLACIA は、平成 20 年 4 月に事務所を開設し、平成 21 年 2 月に本格稼働をしました。これまでに、たくさんの皆様に利用をいただいています。技術相談・機器使用件数は、平成 20 年 8 月から平成 25 年 3 月末までの累計で、技術相談は 1,173 件、機器使用は、なんと 2,520 件にもものぼります！！また、PLACIA の設立に先立って、平成 19 年 10 月に発足したプラズマが拓くものづくり研究会（PLAM）は、これまでに講演会、国際シンポジウム、実習等を含め、45 回開催し、3,200 名の方々にご参加いただいています。ご講演いただいた講師の方々も、延べ 100 人を超えています。

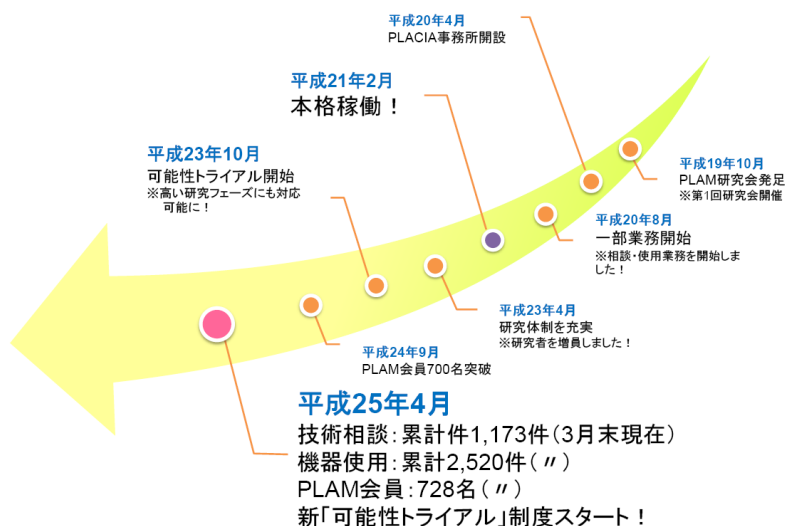
●平成 25 年 4 月、PLACIA が新しく！

「PLACIA の技術をもっと深く使って、一緒に研究したい！」「PLACIA の機器を使用して、自社の研究を有効に進めたい！」そんな声にお応えして、PLACIA では、この 4 月から、従来の「可能性トライアル」制度を新しくするとともに、PLACIA の機器の有料使用制度を導入しました。

●新「可能性トライアル」制度について

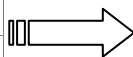
「可能性トライアル」は、平成 23 年 10 月の制度導入以来、PLACIA の研究者が一緒になって企業の抱える課題解決に取り組む新しい形の研究開発制度として、皆様にご利用いただけてまいりました。ただこれまでは、1 件あたり 10 万円のパッケージでできる内容が限定されるうえ、研究開発期間も約 1 カ月と限られており、「もっと長く、腰を据えて取り組みたい・・・」といった声も寄せられていました。

そこで PLACIA では、この 4 月から、案件に応じて研究開発期間、研究開発内容を柔軟に設定できるように、「可能性トライアル」制度を改善しました。これまでより密に研究者が研究内容について詳しくお伺いし、ぴったりのプランを提案します。企業の皆様のご要望に沿って、さらに使いやすくなった「可能性トライアル」。PLACIA のポテンシャルをとことん使って、皆様の抱える課題解決にお役立てください。詳しくはお問合せください！！



<従来の「可能性トライアル」制度>

研究期間	概ね 1 カ月以内
金額	1 件あたり 10 万円
期間が限られ、案件によっては十分な研究開発ができない。	



<新「可能性トライアル」制度>

研究期間	案件に応じて決定
金額	10 万円～ （上限 500 万円まで）
PLACIA の研究者と相談のうえ、案件に応じた研究開発が可能に！！	

※金額は、内容に応じて異なります。

●機器使用の有料化について

PLACIA では、設立以来、PLAM 会員の皆様に、技術相談、機器使用のサービスを、無料で提供してまいりました。しかしながら、設立 4 年を経て、PLACIA をご利用いただいております企業の皆様のプラズマ技術に対する理解が深まるとともに、PLACIA への期待も高くなり、従来の無料でのサービスでは、ご満足いただける内容を提供することが困難となってまいりました。そこで今回、機器の使用を有料化することといたしました。詳しくはお問合せください。

なお、これまで同様、技術相談は無料にて承りますので、お困りのことがございましたら、まずはお気軽にお問合せください。ご相談のうえ、「可能性トライアル」や、「機器使用」など、適したサービスをご案内させていただきます。

●PLACIA を使ってみよう！！と思ったら・・・

まずは、技術相談依頼票にご記入のうえ、PLACIAにお送りください。

※HP よりダウンロードできます。http://www.nipc.or.jp/placia/facility_usage.html

≪1 枚目：基本情報記載≫

技術相談依頼票	
① 依頼日	平成 年 月 日
② 依頼者	企業・機関名
	事業所・工場名
	所 属・役 職
	氏名（ふりがな）
③ 連絡先	電話・FAX
	E-Mail
	URL
	所在地
④ 企業情報	【該当する項目を○で囲んで下さい】 従業員数：～300人、それ以上 資本金：～2億円、～10億円、それ以上
⑤ 業種（主要業務）	【該当する項目を○で囲んで下さい】 1 繊維工業・衣料 2 木材・木製品 3 家具・装飾品 4 パルプ・紙 5 印刷 6 化学工業 7 石油・石炭製品 8 プラスチック製品 9 ゴム製品 10 金属・鉄鋼製品 11 窯業・土石 12 鉄鋼業 13 非鉄金属 14 金属製品 15 石油機械器具 16 生産用機械器具 17 産業用機械器具 18 電子部品・デバイス 19 電気機械器具 20 情報通信機械器具 21 輸送用機械器具 22 その他の製造業
⑥ 業務内容	

≪2 枚目：相談内容記載≫

相談内容	
⑦ 基 材	
⑧ 用 途	
⑨ 処理目的	

（注）上記内容は、貴社の技術相談・トライアルおよび当公社の統計処理以外の目的には利用しません。

≪基本情報≫①～⑥

①：依頼日

※記入した日をお書きください。

②③：依頼者・連絡先

※ご担当者の所属、連絡先をお書きください。

④：資本金・従業員数

⑤：業種

※該当部分に○をつけてください。

⑥：業務内容

※主な業務内容、担当部署の業務内容をお書きください。

≪相談内容≫⑦～⑨

※一番重要な部分です！

なるべく具体的にお書きください。

⑦：基材 ⑧：用途 ⑨：処理目的

●PLACIA 協賛会員制度について

PLACIA との交流を深め、事業の活動内容等にご賛同いただける方へ、広く協賛会員を募集します。協賛会費は1口3万円です。協賛会員には、可能性トライアルや、機器使用の割引などの特典があります。詳しくはお問合せください。

【各種お問合せ・技術相談依頼票送付先】

公益財団法人名古屋産業振興公社プラズマ技術産業応用センター（PLACIA）

TEL：052-739-0680 FAX：052-739-0682 E-Mail：plasma@nipc.or.jp

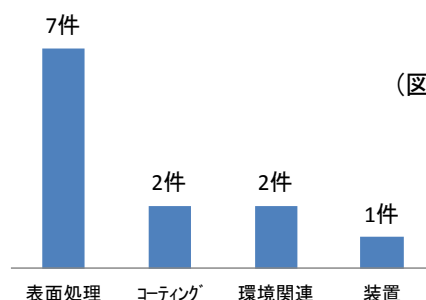
*HP、メールアドレスのドメインが、4月より「nipc.or.jp」に変更になりましたので、ご注意ください。

2. PLACIA の技術相談・機器使用状況

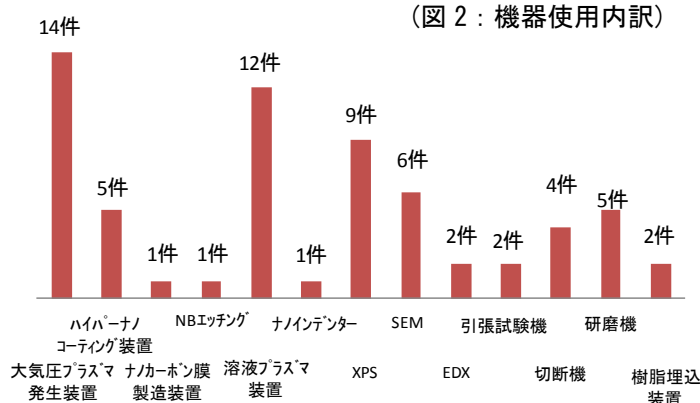
3月はPLACIAの技術相談が12件、機器使用が64件（共に延べ数）でした。詳細は図1、図2をご参照ください。

また、平成24年度（平成24年4月～平成25年3月）は、全体で技術相談が283件、機器使用が856件でした。たくさんのご利用ありがとうございました。

PLACIAでは引き続き、企業の皆様の技術的な課題解決のお手伝いをしてまいります。今号の特集も参考にいただき、ぜひ一度ご相談ください。



（図1：技術相談内訳）



（図2：機器使用内訳）

3. 事務局より

●PLACIAのスタッフが新しくなりました！

平成 25 年 4 月より青木に代わりまして新しく山田が部長として着任いたしました。

<着任のご挨拶> 産学連携・プラズマ産業応用担当部長 山田 範明

平素はプラズマ技術産業応用センター（PLACIA）の活動にご支援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。異動により 4 月 1 日から PLACIA へ赴任いたしました。微力ながらも弊センターの活動を通して、プラズマ技術の産業応用へのさらなる展開と、それらがものづくり企業の発展につながるよう努めてまいります。PLACIA は、これまでに行ってきた研究の成果や企業支援の経験を活かし、プラズマ技術とものづくりとの橋渡しとなる可能性トライアル等の技術支援を引き続き進めていきます。お気軽にお問い合わせください。

<異動のご挨拶> 旧職名：プラズマ技術産業応用センター産業応用部長 青木 猛

この度異動により、PLACIA を離れることになりました。本格稼働から間もない平成 21 年 4 月に部長を拝命し、職を務めてまいりました。離陸しかけたセンターの活動を上昇させて巡航軌道に乗せることが私に与えられた使命でした。この大きな使命に、初めは正直自信もなく、不安で一杯でした。しかしながら、関係機関の皆様からも惜しみないご協力がいただけましたおかげで、何とか PLACIA を巡航軌道に乗せることができたのではないかと感謝しております。ご支援いただきまして、誠にありがとうございました。4 月からは名古屋市工業研究所の支援総括室長として、引き続き企業の皆様のお役に立てるように邁進してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

●今月の PLACIA

春になり、PLACIA にも異動や、新制度の導入など、変化がありました。新「可能性トライアル」など、益々パワーアップした PLACIA を、ぜひご利用ください。



レンギョウ：3 月 29 日撮影



ユキヤナギ：3 月 29 日撮影

※春は花の季節です。志段味は名古屋市とはいえ、自然が豊富なので、様々な花々が、目を楽しませてくれます。

平成 25 年 4 月 15 日発行 編集・発行：プラズマ技術産業応用センター（PLACIA）

〒463-0003 名古屋市守山区大字下志段味字穴ヶ洞 2268-1 お問い合わせ：Tel. 052-739-0680 Fax. 052-739-0682

E-Mail: plasma@nipc.or.jp

PLACIA NEWS 春号は、春らしく桜色でレイアウトしてみました！夏号は 7 月 15 日発刊です。
お楽しみに！

志段味のサクラ：3 月 29 日撮影

